

避難のタイミング

早めの避難

がけ崩れ、土石流、地すべりに大別される土砂災害は、被災すると生命に危険を及ぼすおそれがあり大変危険です。避難情報にしたがって早めに避難しましょう。



市から避難情報が発令された時は!!

警戒レベル	市が発令する避難情報	住民がとるべき行動
5	緊急安全確保	すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。直ちに身の安全を確保する行動をとしましょう。
～ <警戒レベル4までに必ず避難!> ～		
4	避難指示	土砂災害が発生するおそれが高まっています。危険な場所から全員避難を開始し、早めに避難を完了させましょう。
3	高齢者等避難	土砂災害が発生するおそれがあります。高齢者や障害のある方など避難に時間がかかる方は避難を開始し、早めに避難を完了させましょう。

* 具体的な避難行動はP29「避難行動判定フロー」で確認しましょう。

! 防災気象情報に注意

大雨等により土砂災害の危険性が高まったときに、気象庁から発表されます。

雨が
強くなると

大雨注意報

災害が起こるおそれがあります。

大雨が
降り続くと

大雨警報(土砂災害)

重大な災害が起こるおそれがあります。

さらに激しい
大雨が続くと

土砂災害警戒情報

土砂災害の発生危険度が高まっています。

数十年に一度の
大雨になると

大雨特別警報(土砂災害)

土砂災害が同時多発的に発生するおそれが高まっています。

避難のポイント

避難するときに気をつけること

土砂災害警戒区域は通らない

避難する際は、土砂災害警戒区域は通らないようにする。



長雨や豪雨に注意

降り始めからの降水量が100ミリ以上になったときには、土砂災害が発生するおそれがあるため、家の周りの状況や避難情報等に注意する。



前兆現象を知り、早めに避難

土砂災害の発生前には、前兆現象がみられることがある。前兆現象を確認した場合は、すみやかに避難する。



土石流に直面したときの逃げ方

土石流のスピードは、時速20～40キロと非常に速く、流れに背を向けて逃げても、追いつかれてしまうため、土砂の流れる方向に対して、直角に逃げる。



逃げ遅れたときには命を守る最善の行動を!!

比較的高い鉄筋コンクリート造などの堅固な建物や、自宅の斜面とは反対側の2階以上に位置する場所に移動する。

